

学校レポーター's コラム

「最後の音楽発表会」

今年「フレンドシップ」の合唱と「情熱大陸」の合奏をすることに決まりました。ほくはこれが最後の発表会になるので、毎日練習するというめあてを立てました。

合唱では、歌詞の意味を考えることから始まりました。最初はなんとなく歌っていただけだったけど、何度も歌ううちに、だんだんと歌詞の意味がわかり、気持ちを込めて歌えるようになっていきました。合奏では、コンガを演奏することにになりました。



小・中学校レポーター

中川根第一小学校6年
植田 龍己 さん

た。ほくは、パーカッションのパートが初めてだったので、わからないことばかりでした。でも、先生に聞いたり、友達と何度も合わせたりにして、うちにリズムが

しみ込んできました。

そして、本番の日がやってきました。朝からずっと不安な気持ちでいっぱいでした。でも、会場に着いて声を出したら、不安な気持ちがすうっと消えていきました。

全員合唱が終わわり、いよいよ私たちの出番です。ステージに上がった時には、今までの成果を発揮するぞという強い気持ちが込み上げてきました。

発表は大成功で、今までで一番の演奏ができました。他の学校の発表もすごく上手でした。

練習してもうまくいかないときは、嫌になって投げ出したくなったりすることもありました。

でも、最初に立てためあてを達成し、毎日練習することで、小学校最後の音楽発表会を心に残る演奏で終えることができました。がんばってよかったです。



音楽発表会の様子

「今年度 後期生徒会長の 大石与夢です」

11月18日 奥大井ふるさと祭り

ダイダラボッチと出会いました
(ふるさと祭りの記事は来月号にて)

私の目指す川根高校は、「あたり前のことができる」学校です。あたり前のこととは、日常生活をする上で、あたり前のことである、あいさつや正しい服装、言葉遣いや時間を守るといったことです。

この中にある、「あいさつ」は、川根高校は今もあたり前にできているのではないかと思います。このあいさつのように、たくさんあたり前にできることを増やしていきたいということが私の生徒会長としての目標です。

この目標を達成するために、私は委員会の間での協力が必要であると考えました。そのためにも委員長会を開き各委員会ごと連絡を取り合う機会を多く設けていきます。

他の委員会などを含めた川根高校全体であいさつのように、あたり前にできることを一つでも増やし、よりよい川根を生徒全員でつくり上げていきたいと思っています。

思います。

まだまだばかりでわからないことも多くあり、不安もありますが、生徒会本部の役員や委員長、そして全校生徒のみなさん、先生方と協力し合い、がんばっていききたいと思っています。

また、校内だけでなく、さまざまな行事、場面で地域のみなさんに助けていただくことが多いと思えますが、御理解と御協力をよろしく願っています。

川根高校がこの地域の誇りとなるような学校にしていきたいと思っています。

川根高校レポーター

川根高校2年
大石 与夢 さん

